

令和6年度 県立南風原高等学校・高等支援学校 学校評価（学校評議員） 回答4名/5名

評価項目	番号	評価の観点	評価(4 そう思う 3 ほぼそう思う 2 あまりそう思わない 1 思わない)					←高評価 低評価→				+	-			
			4	3	2	1	回答数	←高評価 グラフ 低評価→			4			3	2	1
学校運営	1	南風原高等学校・南風原高等支援学校の教育は、生徒にあっていく。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
	2	学校では、生徒一人一人を大切に、人権に配慮した指導が行われている。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
	3	学校は、生徒の進路に対応した教育活動が行われている。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
学校生活	4	生徒は、南風原高等学校・南風原高等支援学校に入学して良かったと思う。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
	5	両校の学校行事は充実している。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
	6	本校は、いじめや生徒の心の健康について適切に対応している。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
授業 (学習指導)	7	生徒が分かりやすく楽しく授業に参加できるように努めている。	0	3	1	0	4	75%	25%	0%	0%	75%	25%	0%	75%	25%
	8	授業では、生徒の実態に応じて教え方を工夫している。	0	3	1	0	4	75%	25%	0%	0%	75%	25%	0%	75%	25%
	9	学校全体で学力向上に努めている。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
特別活動	10	学校の部活動は活発である。	2	1	1	0	4	50%	25%	25%	50%	25%	25%	0%	75%	25%
	11	学校の生徒会活動は活発である。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
生徒指導	12	生徒が正しく制服を着るよう指導している。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
	13	生徒指導では、家庭と連携を取って進めている。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
	14	生徒指導は、生徒の人権に配慮しており、その方法は適切である。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
	15	本校の生徒指導の方針を適切に伝えている。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
進路指導	16	学校は、進路相談に適切に応じている。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
	17	学校は、生徒の適性や希望に応じた進路指導に努めている。	1	2	1	0	4	25%	50%	25%	25%	50%	25%	0%	75%	25%
	18	進路に関する情報を生徒や家庭に適切に提供している。	1	2	1	0	4	25%	50%	25%	25%	50%	25%	0%	75%	25%
健康安全	19	学校は命の大切さや社会のルールについて適切に指導している。	1	3	0	0	4	25%	75%	0%	25%	75%	0%	0%	100%	0%
	20	学校は、生徒の健康管理に適切に取り組んでいる。	0	3	1	0	4	75%	25%	0%	0%	75%	25%	0%	75%	25%
環境美化	21	清掃が行き届いており、きれいな学校である。	3	1	0	0	4	75%	25%	0%	75%	25%	0%	0%	100%	0%
	22	花と緑が多い学校である。	3	1	0	0	4	75%	25%	0%	75%	25%	0%	0%	100%	0%
	23	学校は掲示物に工夫があり、生徒の意識を高めている。	2	2	0	0	4	50%	50%	0%	50%	50%	0%	0%	100%	0%
家庭との連携	24	学校からの情報や連絡は、家庭によく伝わるように、ホームページ等を活用している。	1	1	2	0	4	25%	25%	50%	25%	25%	50%	0%	50%	50%
	25	教職員は、保護者との連携を取っている。	0	4	0	0	4	100%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
	26	学校では、マスカミやホームページ等を活用し、活発な広報を行っている。	1	2	1	0	4	25%	50%	25%	25%	50%	25%	0%	75%	25%

令和6年度の合計	4	3	2	1	回答数						4	3	2	1	+	-
	22	73	9	0	104	21%	70%			9%	21%	70%	9%	0%	91%	9%

自由記述

0%

①	学校運営に関すること	・校則やマナーアップカード指導について保護者との意見交換会が行われましたが、このような機会を多く持つことは非常に良い事と思います。定期的な意見交換会を開催し、学校側と保護者の指導についての勉強会を行う事を提案します。 ・さまざまな課題がある中、先生方のご尽力が伺えます。生徒にあったやる気を起こさせる機会を作れるように引き続きお願いします。 ・多様な生徒を受け入れる事による教職員のご苦勞心勞を懸念します。今年度、校則に関する検討会(生徒、教員、PTA、評議員)を実施された事は、時代に沿った校則にする為には評価しますが、時間も限られており、事前アンケート(生徒、教員、保護者)も実施する等、検討方法に関しては再考が必要とかんじました。 ・学校評価アンケートについては、わからない部分が多かったため、「ほぼそう思う」と答える比率が高くなっています。とくに、生徒、保護者の視点は、学校評議員からは、見えないため。答え辛いです。
②	学校生活に関すること	・良い環境にあると思います。 ・学校に楽しみがあるような、いこえるような意外性のある「遊び」の工夫があると刺激になるかと思いました。(かくトイレに面白い言葉や詩や絵を飾るなど) ・部活動に参加する生徒が年々減少して、他コースや他学年との交流が減っていると思われる為、現状の部活動だけでなく、生徒達の要望も取り入れ、eスポーツ部やボランティア部等、また研究会や様々な資格取得を目的としたサークル(生徒達の主体的な勉強会会場所提供、先輩による指導アドバイス)等も検討してはどうか。 ・高校生、保護者には、さまざまな意見があろうかと思います。教育実践を行う中、なかなか対応の難しい場面があるのではないかと想像します。
③	学習活動に関すること	・高く評価します。 ・各教科にもよると思うが、クラスである教科に強い人が弱い人に教えたり、それぞれ得意分野を分かち合うような雰囲気ができると全体の雰囲気もいいかと思いました。(テスト前の自主学習などー自主的にやるというですが) ・授業参観した際に感じたのが、年々生徒の授業態度の悪化が懸念された。進級時に進学、就職希望でクラス再編等も検討が必要なのは。 ・①高等特別支援学校と②高校が、ともにある、この条件は、生徒に多いに刺激を与える可能性があるように思います。学習活動にも活かせるのではないかと感じます。また、場合によりますが、性教育や反貧困学習を、教員と生徒が共に学ぶスタンスで取り入れるのも、学校のニーズにあうかと思しせん。
④	特別活動に関すること	・芸能文化に力を入れている学校として、更に活発な活動を願っています。 ・先日ラジオで、南風原町の特産物のカタログを作ることが紹介されていました。楽しそうでとてもいいなと思いました♪ ・郷土芸能部の活躍を新聞メディアで良く目にし非常にいい事なのですが、外部で発表の機会が増える事により、学業に支障がないか懸念する。支援学級の生徒達による出店(南風原祭り、JAファーマーズ等)を定期的に行い、生徒達に販売する機会を、外部とのふれあいを増やしてはどうか。 ・①高等特別支援学校と②高校が、ともにある、この条件は、生徒に多いに刺激を与える可能性があるように思います。②の生徒が、①の生徒にお化粧してあげる。①の生徒ご②の生徒とお菓子を作る…様々に取り組みそうだと、勝手ながら、想像いたします。
⑤	生徒指導に関すること	・キャッシュレス化が進む中で、金銭感覚の指導が必要かと思います。カードローンなどが身近になり便利さはありますが、返済が出来ず犯罪につながるケースが多くなっていますので、社会人になる前に計画力が学べるような教育が必要ではないかと思っています。 ・いろいろな事情があるかと思いますが、イエローカードのようなものを渡すだけではなく、大変でしょうが、やはり生徒一人一人との対話を重視することかなと思います。 ・コロナ禍後の生徒達の問題行動の増加による指導対応による、担当教職員のご苦勞を危惧します。スクールカウンセラーやスクールガード等の充実も検討してはどうか。 ・生徒の行動をチェックしていく指導法だと、教員が疲弊するように思います。また、この指導法だと、生徒の抱える生活上の難しさ、個々の生徒の想い…こうしたものが見えづらくなるように思います。本部高校では、校則の見直し、緩和が、定員増に結びついているようです。生徒、教員、双方が歩み寄ることができるラインを模索するのも一案かと思っています。
⑥	進路指導に関すること	・多様性が重視される時代でもあり、進路についても大学に進学する事が前提では無い時代に来ていると思います。社会人になって自信をもって仕事や生活が出来る進路指導をお願いします。 ・自分で作り出す仕事もあることを伝えてもいいかと思ったりします。職人に会わせる、人の話を聞かせるのもいいかと。 ・進学率、就職率がアップしている事は評価できます。早い学年からの進路に対する意識付けが大事かと思っています。 ・とても大変だと思います。ただ、①高等特別支援学校の生徒が就職していく様子を②高校が、まのあたりにできるのは、すごいことだと思います。
⑦	その他	・24の質問について、2を評価しましたが、学校側からの発信はしっかりされていると思いますが、保護者や生徒側からの声を聴きやすくするよう掲示板的なページを設けると、悩み相談などにも生かせるのではと思いました。なかなか面と向かって話せない人も、口コミの様な書き込みで発信できる人もいます。見えない声を聴く機会にもなるかと思っています。 ・工芸技術を身につけさせる授業やコースを作って欲しい。(織物、木工、陶器など) ・全国的にPTA組織の弱体化が懸念されているので、学校サポート体制充実の為、地域自治会との連携や、創立50周年を期に同窓会組織活性化を図っていただきたい。県外、離島や遠方から通学している生徒達のサポート体制はどのように行われているのか気掛かりです。 ・学校評議員、勉強になっております。ありがとうございます。日頃、たいへんな思いの中、先生方は、教育にあたられていると想像します。楽しさが積み重なるような日々でありますよう、願っております。